

農園で2年生が育てているきゅうりはあつという間に子どもたちの背丈ほどにのび収穫が始まりました。先日の台風だけでなく、雨や風そして日照りとしっかり向き合っていかなければ作物を育てることができないことを子どもたちは学んでいます。子どもたちが育てている作物だけでなくこの時季は草も生長の勢いを増します。「雑草」と一まとめにしてしまうことが草には申し訳ないのですが、日々雑草との戦いの場となっているのが今頃の農園です。雑草を刈ることと、作物を育てることの両方を同時にしていることに少し複雑な感もありますが、今は「育てる」「実らせる」ことを第一に考えなければなりません。草刈りをしていると、小鳥たちが近くにやってきます。草刈り機が通過したあとには私の目には見えないほどの小さな虫たちがいるのかもしれませんが。小鳥たちは私に感謝してくれているようです。

## 【ここだけの話？】

「誰にも言わないで」「ここだけの話」そんなことを言いながら会話が進むことってありますか？そう前置きして話し始める人はどんな人でしょう。その人は話したいだけ話し、気分もスッキリとなるのかもしれませんが、そう前置きをされているいろいろな聞かされる方はたまったものではありません。学校でもときどき、そのような会話に近いものがあるようです。担任に「ここだけの話ですが」などと言ってもものを言うのはいかなものなのでしょうか。言われた方がどうしたらよいかを判断するのと、はじめから誰にも言わないで、と釘を刺されてから話を聞かされるのでは大きな違いがあります。小学校では、「校長には言わないでください」「〇〇先生には言わないでください」は通用しません。そうでないと、噂話がまるで事実であるかのように一人歩きしてしまうことになってしまいます。保護者の皆さんのお耳に入ってくる話題の中には、あまり聞いて嬉しくないもの、どちらかと言えば不快なものもあるかもしれません。たまたまそういう話題に興味を持ちやすい方に伝わるとさらに輪をかけて事実とかけはなれたものになって伝わっていくことがあります。どこかで事実と異なる話題は止めなければなりません。

## 【子ども理解と声かけ】

登下校の際に、駅や電車内、さらには通学路での子どもたちの様子が気なる、改善してほしいという連絡をいただくことはときどきあります。今回は、どこにお住まいの方かは分かりませんが、その方の家の周辺での桐光学園小学校に通学している子どもたちの遊び方が悪い（その方の敷地内に立ち入る・大きな声を出すなど）ことについて、学校に連絡をしてこられた方がいらっしやいました。その方がおっしゃるには、直接子どもや親にも話したとのことでしたが改善が見られず、あまりしつこく注意すると逆に何かされるのではないかと心配になって、学校に連絡したとのことでした。どうしようもなく学校に連絡することにした気持ちが理解できなくはありませんが、正直なところ「ついにここまで来たか」という気持ちになりました。

登下校時のマナーにしても、地域での遊びや過ごし方にしても、なぜそこまでいろいろな人に苦情を言われるようなことになってしまうのでしょうか。子どもたちが変わってきているのでしょうか。本来子どもたちを導くべき大人の力がなくなっているのでしょうか。それともまわりの大人が気にしすぎなのでしょうか。よく分かりませんが、何かいろいろなことが少しずつ欠けていたり、それに対する見方や感じ方が過敏になっていたりするように感じます。

ただ、一例でしかありませんが、本来はまだ電車やバスを使った通学を子どもだけではあまりしない小学生が毎日大人と一緒に通学しているということを私たちは忘れてはいけません。まだ社会性が十分に身につけていない子どもたち、自分自身の今を客観的に、また第三者の立場から見るができない子どもたちが大人と同じ場にいるわけですから、子どもたちの行動がなかなか大人に受け入れてもらえないのは当然でしょう。私たちはそれをしっかりと認識した上で、子どもたち一人ひとりに声かけをしていかなければなりません。ただ単に行儀よくしなさい、マナーを守りなさいという声かけでは子どもには伝わらないと考えます。

## 【新しい自分を発見したい】

先日午後4時ごろに第一グラウンド横を歩いていると、中高生がクラブ活動をしていました。「あの集団は陸上部かな？」「陸上部の高校3年生には小学校出身の800m走で注目されている〇〇君がいるな」そんなことを思いながら歩いていると、そこに中2の卒業生の姿がありました。挨拶を交わしたあとで「陸上部だったの？小学校の頃から駆けっかが好きだったかな？」と聞いてしまいました。そうすると「意外でしょう。でも、何か新しい自分を発見したくて入って見たんです」とのことでした。小学校を卒業してからあまり会うことがありませんでした。身長も10cm以上伸びたと思います。『新しい自分を発見したくて』に込められた意味は考えれば考えるほど大きなものを感じられました。小学校を卒業してからいろいろなことがあったのかもしれませんが、自分の意思で新しい一歩を踏み出した彼を、自分探しをしている彼を、私は尊敬します。そして、心から応援します。